

#### 4. 南関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (南関東)	良くなる やや良くなる	○	○
		一般小売店〔家電〕 (経営者)	・総選挙後、ムードが変わってくるため、景気の様子が変わるのではないかと期待している。
		一般小売店〔祭用品〕 (経営者)	・師走を迎え、年末年始の準備で物が動くことに期待したい。
		百貨店(店長)	・総選挙次第だが、今までより良いだろうという消費者の心理により、好転を期待する。
		その他小売〔雑貨卸〕 (経営者)	・総選挙も近付いてきて、それが大きく左右する。
		その他小売〔ショッピングセンター〕(統括)	・秋の訪れは遅かったが冬が一気に来たため、商品が動きやすくなっている。総選挙後、政党のアピールもあるため、いろいろ政策を打つと考えられ、それにより消費者の気分が変わってくるのではないかと考えている。
		都市型ホテル(スタッフ)	・年明けは客が一番動く時期であるため、来館数が増える傾向にある。従って、成約数も上がる傾向にある。
		旅行代理店(従業員)	・一時の冬の北海道スキー団体は減ってはいるものの、ある程度の団体がツアーを企画し、予約に至っている。報償旅行も動く気配があるため、少しは回復の兆しがある。
		タクシー運転手	・これから年末年始に掛けて、忘年会、クリスマス、新年会と1年で一番忙しい時期を迎え、今まで動きが悪かった夜も、一気に忙しくなると思う。
		通信会社(経営者)	・12月からは新商品を販売開始する予定であり、新型スマートフォンとの相乗効果もあり、テレビ、インターネットが順調に獲得でき、明るくなる。
		通信会社(社員)	・政治状況により変化があると思うが、良くなることを期待したい。
		通信会社(営業担当)	・総選挙を控え、期待感はある。政策によっては、経済活動が良くなると思っている消費者も多いようである。
		その他サービス〔保険代理店〕(経営者)	・現政権が倒れ以前の政権に戻れば、景気回復が期待できると思う。3年前の状況に戻るには5～6年は掛かると覚悟している。
設計事務所(職員)	・総選挙が行われ、有効な景気対策がなされることに期待する。		
住宅販売会社(従業員)	・消費税増税の影響がそろそろ出てきている。		
変わらない		商店街(代表者)	・クリスマス商戦は少し良い反応であるが、年末年始のカレンダーの並びが長距離レジャー向きなため、当地域にとっては厳しいと思う。12月の総選挙で少し世相や消費者マインドに火がつくと、年末年始の消費に大きくかかわってきそうである。
		商店街(代表者)	・政権が変わり保守政治へと変わるだろうが、アメリカの財政引き締めによる、急速な景気減速が日本にもたらす影響が、大変不安である。
		商店街(代表者)	・総選挙の結果次第である。ある政党が言うように金融緩和ということをやっていれば景気も良くなるのではないかと。
		一般小売店〔家電〕 (経理担当)	・変わって欲しいが、政権が変わってもすぐには変わらないのではないかと。
		一般小売店〔文房具〕 (経営者)	・年間を通して印刷の比重が非常に大きいため、それが良くないということは、引きずると思う。そういった点では、期待はできない。
		一般小売店〔文具〕 (販売企画担当)	・政治が動き始めたことで、客のなかでは、これからある程度お金が回ってくるのではないかと期待感が出てきているのも間違いない。ただ、企業側のB to Bでは若干そういうものがあるが、B to Cでは、増税などいろいろと懸念されるためなのか、かえって、お金を極力使わないような動きが見られる。そのため、プラスマイナスゼロだと思ふ。
		百貨店(売場主任)	・客の声から、まだまだ価格への関心はあり、今後も更に強まると思う。また、1月のクリアランス待ちという声も出始めている。
		百貨店(総務担当)	・変わる材料が乏しく、何か起爆剤が必要だが現時点では難しい。デイリーの食品を中心に買い回りを良くするか、もしくは単価を上げるのだが、どちらも決定的な策はなく、媒体を含めた緻密な策を打って対応していく必要がある。
		百貨店(営業担当)	・気温が例年より低下しているため、婦人服をはじめ紳士服、子供服のコートや防寒衣料の動きが良い。また、衆議院の解散に伴う政権交代の可能性からか、株高と円安が進んでおり、宝飾、時計、美術等の高額商品の動きも良くなってきている。

百貨店（営業担当）	・政治も全く先が見えず、消費行動は冷え込んだままである。
百貨店（営業担当）	・初売りから新生活需要の端境期にあたり、消費行動に対するモチベーションが上がりにくい時期でもある。各社1月のクリアランスセールについては、おおむね遅らせることなく月初から始まることを鑑みると、冬物についての先買い、セール商材の不足、売上が厳しいため更なる値下げ、購買単価の下落といった負のスパイラルがしばらく続く。
百貨店（販売管理担当）	・最大の商戦であるクリスマス時期を迎え、一部に動きが開始していることから、今後の動向に期待ができる反面、収束しつつあるもののクリアランス分散化の影響や、消費税増税を見越した消費マインドの減退などの不安要素が山積しているため、大きな変化はない。
百貨店（営業企画担当）	・総選挙等の影響もあり、景気が回復する見込みは低い。
百貨店（営業企画担当）	・売上が連続で伸び悩んでいるためである。
スーパー（経営者）	・2、3か月先は今月と変わらず、あまり良くない状態が続くそうである。特に今月は出足は良かったが、やはり天候が悪く雨が多いせいか、ここへきてあまり良くない状態になってきている。そのため、平月と同じような状態がずっと続いており、この先も同じである。
スーパー（店長）	・12月は総選挙があり、本来ならば今の景気より良いと答えたところだが、師走選挙のなかで、政党が多すぎて、どの政党に1票を入れていか分からないという不安材料があり、また、どこの政党が政権を取ったとしても3か月後の景気が今より良くなるとは感じられない。現状維持で悪いままで行くのではないか。
スーパー（店長）	・12月の総選挙にもよるが、消費税増税問題、年金問題がいまだ解決されておらず、やはり客は、今必要な物、欲しい物しか買わないという買い方が相変わらず続いている。2、3か月後も大きく期待ができず、現状とあまり変わらない。
スーパー（店長）	・お歳暮ギフトやクリスマス、年末商戦を控えており、家庭の出費がかさむため、通常日に必ずしわ寄せが来ると思う。厳しい状況は続く。
スーパー（総務担当）	・今年の冬は寒いということで、衣料品を中心に防寒物の動きが前年よりも良くなると想定する。ただ、食料品や頻度品に関しては、競合各社を含めて自社も値下げ断行するが、価格は下がるが販売数量はそれほど大きく伸ばすことはできないだろう。トータルとして前年並みにはいけようが、全体的な景気が良くなったとは思えない状況である。
スーパー（営業担当）	・いろいろな情勢のなか、まだまだ将来に不安を抱えているのが現状である。そのため、財布のひもが依然として固く、消費がなかなか景気の下支えになっていない。
スーパー（仕入担当）	・競合各社の価格政策に対抗して、店舗により価格を合わせているが、買上点数が伸び悩んでおり、持久戦の様相を示している。
コンビニ（経営者）	・周りの状況に全く変化がない。
コンビニ（エリア担当）	・客数が前年比98%の傾向が続いており、その状態が続くと予想している。
コンビニ（商品開発担当）	・現在の動きも、気温に慣れてくれば、やはり元の動きになるため、変わらない。
衣料品専門店（経営者）	・政治が安定し明るい社会にならないかぎり、景気の回復は望めない。
衣料品専門店（店長）	・現状はほぼ横ばいで推移しており、大きな変化の兆しはない。しかし、電気料金の値上げによって家計に与える影響が徐々に出てくると思い、店舗でもコスト削減が課題になっている。中国との騒動の影響は徐々に減ってきている。
衣料品専門店（営業担当）	・不況のせいか高級品が売れず、旧品、低級品がよく売れ始めてきている。
家電量販店（統括）	・家電業界を取り巻く環境は、まだトンネルを抜けていない。年末から春商戦にかけて目玉商品が出てこない。
家電量販店（営業統括）	・平均賞与支給額が前年より下がると言われており、消費意欲の向上は見込みにくい状況が続いている。ここにきて、円高の是正、株価の上昇など多少プラス傾向にあるが、大きな改善を見込むことは難しいと判断せざるを得ない。
乗用車販売店（経営者）	・整備は順調に入っているが、販売がエコカー補助金が終わってからあまり芳しくない。今年一杯、そのような状況が続くとみられる。
乗用車販売店（経営者）	・12月に入ってから歳末セールをするが、大事な時期と総選挙が重なるため、思うように来客が増えない。

乗用車販売店（経営者）	・新型車の発表があったが反応が鈍いため、変わらない。
乗用車販売店（販売担当）	・低公害車普及促進対策費補助金でトラック関係についても、かなり受注が多く需要も出ていたが、それが終わり次第、極端に受注が減ってきている。今後についても、国が何らかの手を打たないことには、景気は良くならないと思う。特に環境関係に厳しい車両については価格が上がっているため、そういった助成金がないと、ユーザーもなかなか回復しない。
乗用車販売店（店長）	・ほとんどの業種の客が、景気が悪いと嘆いている。ただ、総選挙があり、政局によっては良くなるかもしれないが、現状で経済効果や国際環境が変わるといった期待ができない。
乗用車販売店（販売担当）	・ボーナスシーズンに向けてイベントを開催しても、販売台数が多いのはハイブリッド系の車で、他の機種は苦戦しているため、変わらない。
乗用車販売店（営業担当）	・何件かの商談予定があるが、普通車の話はなく、利益の薄い車種ばかりである。補助金が大分前に終了しているが、減免、減税との違いを分かっていないユーザーが多い。
住関連専門店（店長）	・特別、景気が上向くような判断材料が見つからない。
高級レストラン（店長）	・今後の予約状況の推移をみて、変わらない。
一般レストラン（経営者）	・総選挙の結果が、年明け後まで尾を引くと思う。
一般レストラン（経営者）	・10、11月と、売上が前年比90%台前半である。政治の関係か分からないが、ここへきて客数、売上が一段と良くない。
一般レストラン（経営者）	・3か月後も今と同じように、会社、サラリーマン等、厳しく、なかなか飲み代、飲食代に使う感じは受けない。早くデフレを脱却して給料を上げてもらわないと、絶対良くならない。
都市型ホテル（統括）	・総選挙後の体制に期待するしかない。
旅行代理店（経営者）	・総選挙が終わってみないと、何とも言い難い。現状からすると、あまり変わらないと思う。
旅行代理店（営業担当）	・商品が多く申込が分散している。
旅行代理店（支店長）	・東京スカイツリーの団体に対する問い合わせが減ってきているのは事実であるが、そうは言っても、まだ来年、開業1年以内には需要はあると思うため、今月とは変わらない。
タクシー（団体役員）	・業界的には新年会等の需要見込みは期待するが、今の街の様子からみると、あまり変わらない。
通信会社（経営者）	・政局が不安定で、与党が変わったとしてもすぐに効果が出るとは思えない。
通信会社（営業担当）	・期待できる材料がない。
通信会社（局長）	・ボーナス商戦を見据えて、安く買物をする消費者心理が見え隠れしており、価値あるものを消費する姿勢は感じられない。
通信会社（営業担当）	・他社との競合、固定回線離れが徐々に進んでおり、契約数は引き続き伸び悩む。
通信会社（局長）	・12月の総選挙を控え、その結果と実行力次第でどうなるかが、今後最も影響が大きいと思うため、現時点では上向くとはいえない。
通信会社（管理担当）	・解散しても、今の政治は誰が何をしようと、リーダーシップを発揮できない人材が多いため、期待できないし期待もしない。
ゴルフ場（支配人）	・予約数が前年並みであるため、変わらない。
パチンコ店（経営者）	・11月は例年悪く、今年も良くはないが、どうにか客数だけは維持している。客がお金を使わない方向にはなっているが、店に来てもらうことがやはり大事なので、2、3か月後はなかなか厳しいとは思いますが、期待を込めて変わらない。
設計事務所（経営者）	・住宅においては、耐震診断や建物劣化といった考え方を元にしながら宣伝をしている。地震が来るとは言っているが、そういったことに対応がなかなかできない、先が見えない、工事や設計をやっているのかというようなことが見られる。
設計事務所（所長）	・動きのない月へと入っていくが、元々動きがないため、これ以上悪くなる感じもない。
設計事務所（所長）	・2、3か月後は、ほとんど変わらないと思うが、当社の業務は具体化するまでに時間が掛かるため、先のことがなかなか判断しにくい面がある。上向きになることを期待しているところである。
住宅販売会社（従業員）	・これから12、1月と販売の閑散期に入るため、営業力の強化をしないと悪くなっていくが、人気エリアを中心に販売展開していければ、現状維持できると思う。

	住宅販売会社（従業員）	・年末までは来場数、販売量共に止まってしまうと思うが、消費税増税による駆け込み需要が期待される。また、客が例年よりも動いていると感じているため、景気は良い状況で変わらない。
	住宅販売会社（従業員）	・前回の消費税増税の時より、ユーザーの先取り感があまり感じられない。状況によって大きく変わらと思うが、年明けより受注の拡大が期待できるのではないかと。
	その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・例年、年末までは建材関係の動きは堅調であり、現状程度は動くため、変わらない。
やや悪くなる	商店街（代表者）	・着物というのは日常不可欠な商材ではなく、ぜい沢、あるいは非日常的であることからすれば、し好品であることには間違いない。そういう物に対して、11月は客が急激に買い控えをしており、今後も厳しい状況になる。
	一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・衆議院解散など政治に不安定感があり、消費者の消費につながらないのではないかと。
	一般小売店〔茶〕（経営者）	・11月に入り気温が下がって寒い日が多くなり、お茶が少しずつ売れてきている感じだが、売上はまだ前年同月割れの状況である。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・これ以上悪くなることを考えたくないが、どこへ行っても、商品がどこでいくら安いなど、本当にデフレスパイラルになり、とにかく値段のようになってしまう。そういう客でなく、他の客を見つけなくてはいけないような気になる。
	一般小売店〔印章〕（経営者）	・総選挙等があるが、何か経済の活性化につながるような政策を打ち出してくれているところが少ない感じがする。小売業としては非常に厳しい状況が当分続くと思う。残念ながら、政府には期待は持てない感じがしている。
	一般小売店〔茶〕（営業担当）	・お茶やコーヒーの味よりもコスト重視で、安い商品に切替える傾向が、ますます進んできている。
	百貨店（総務担当）	・小売業としては、消費税増税なども含めて家計の負担が今後増大するため、消費マインドが今後も冷え込んでいくと考えられる。加えて、当社の客である製造業については、尖閣諸島問題などで輸出も大幅に鈍化していることを考えると、これから決して景気が良くなることはなく、停滞から更に下がってしまうことが考えられる。
	百貨店（総務担当）	・総選挙選挙もあり、当面、政局が不安定な状況が続き、具体的な景気対策が行われるとは思えないからである。
	百貨店（広報担当）	・どの政党が政権与党となるか判然としない選挙戦が始まり、消費税増税やTPPなど先行き不透明な不安感がまん延している。このような状況下、金融緩和などの政策を実施しても、消費の活性化は期待が薄い。消費マインドの先行きは予断を許さない。
	百貨店（営業担当）	・12月という売れる時期の総選挙はかなり厳しい。メーカーが在庫を抑えているのに、売上は上がらない。負の連鎖である。
	百貨店（副店長）	・世界経済や日本経済の減速に伴う消費者心理の冷え込みが緩まないためである。
	スーパー（店員）	・圧倒的に消費税増税が要因となる。今度の総選挙で多少の期待感はあるが、基本的に消費税増税で財布のひもをぎゅっと締めるような買物動向が続くと考える。また、対応としては価格訴求やメニュー提案などの繰り返しによって、俗に言う勝ち組で集客できれば、売上増、来客増につながると思う。
	スーパー（仕入担当）	・長引く不況でサラリーマンの平均ボーナスも前年を割る傾向にあり、ますます消費は冷え込む。
	コンビニ（経営者）	・買上については、全体的に見ても当地域は、これからも非常に良くなる。
	コンビニ（経営者）	・近隣スーパーの値下げ競争に巻き込まれているうえ、大型スーパーの開店が数店予定されており、客の消費動向が全く見えなくなっているためである。
	コンビニ（経営者）	・過当競争に入っていることもあり、来客数の増加はなかなか見込まれない。セール等も安ければ売れるということではなく、やはり必要な物を必要なだけ買うという感覚になっている。また一番心配なことは、店のパート従業員の退職が少しあり、その理由が、夫が少し時間を減らされた、また、リストラをされたなどで、もっと働かなければいけないという理由が多くなってきたことである。
コンビニ（経営者）	・同町内に開店したスーパーの影響が、しばらく続きそうな心配がするためである。	
コンビニ（経営者）	・総選挙の結果にもよるが、安定政権ができて、強力な経済政策を打ち出せば良くなると思うが、そう安定した政治を今現在見込めないため、相当悪くなると思う。	
コンビニ（経営者）	・国は不透明なところが多すぎて、客の財布はとて固い。	

コンビニ（商品開発担当）	・客の来店動機につながるニュースが少なく、消費意欲の低下により、客数の増加傾向がみられない。
衣料品専門店（経営者）	・総選挙後の政治が落ち着きそうもないため、消費者心理も冷えたままで景気も沈んだまま、回復はしばらくしない。
衣料品専門店（経営者）	・最近、12月の売上は1月と比べて落ちる傾向にある。また、今年の12月は政局の先行き不安定という要素もあるため、おしゃれ衣料にお金をまわしそうな気配がない。あまり良い状況ではない。
衣料品専門店（経営者）	・政治のせいにはしたくないが、今総選挙が始まっており、消費意欲がわからない時期だと思う。どのような政権になるうとも、その後、来年1、2月になって、この先がどうなるかだと思う。今のところ良い材料は見当たらない。
衣料品専門店（経営者）	・暖冬予測から厳冬予測に変わり、梅春商材の問題も多いが、2、3月と寒さが続くと、売るべき商材がない。先物買いをしない現在の客に対応できる販促が考えつかない。
衣料品専門店（店長）	・セールによる冬物需要の先取りを行っていることや、2、3か月先の百貨店、ショッピングセンターのバーゲンとの競合に対抗する大きな手立てが今のところないためである。
衣料品専門店（営業担当）	・政治もはっきり決まらず、日本の方向性が全く見えない。増税ばかりでは、買物を楽しもうという人が減少するばかりである。日本が崩れてきていると以前から感じていたが、目の当たりにすると危機感を感じる。
家電量販店（店員）	・商品が安くなるにつれ、高齢化も含め、エネルギー価格が上がり、悪循環が生まれ、不景気に拍車をかけることになる。
乗用車販売店（総務担当）	・新型車効果も望めないなか、修理関係の収益を維持していくのが精一杯である。政治経済の活入れによる、景気の回復を望むしかない。
乗用車販売店（渉外担当）	・エコカー補助金が終了し、個人消費も落ちてきている。実績ベースでは前年比10%減で推移している。ハイブリッドカーの受注が50%近くを占め、燃費性能の良いハイブリッドカーや小型車の比重が増している。
住関連専門店（統括）	・まだまだ景気対策等、混迷している状態で、回復の兆しは当分見込めないのではないかと。
その他小売〔ゲーム〕（開発戦略担当）	・国内は順当に推移すると思うが、海外は年末商戦に投入されたハード、タイトルが引き続き奮わなければ、年明けは相当に悪い状況に落ち込む。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・ボーナスの支給額も低迷傾向にあり、年明けからの税金負担増と家計を圧迫する要素のみが先行し、消費マインドが低下傾向にある。年末商戦が不安である。
高級レストラン（支配人）	・12～1月の宴会の受注状況も伸びておらず、その先も動きが鈍い。これまで比較的好調だった食堂も、10月を境に落ち込んでいる。
一般レストラン（店長）	・とにかく売上が落ちる一方で止まらない。前年比2割あるいは3割落ちているため、これ以上落ちようだと店の存続は間違いなく危ぶまれる。春先にはもう閉店しなくてはならないというような状況に追い込まれると思う。
都市型ホテル（スタッフ）	・新年会は組合、協会、団体を中心に順調に取り込めてはいるものの、企業の動きが例年に比べるとかなり鈍い。年末年始は日並びの関係で最大9連休となるが、宿泊、レストラン共に動きがなく、先行き不透明な状況である。直近に期待しているが読めない。
都市型ホテル（スタッフ）	・今後、ますます客の料金に対する考えが厳しくなり、法人宴会はこれから業績不振を理由にキャンセルが発生したり、利用料金値下げの依頼が多くなると思う。
都市型ホテル（スタッフ）	・政局の不安定さ、円高、世界経済の不安定等で、やや悪くなる。
タクシー運転手	・とにかく周りは不安要素が多いようである。やはり正月に向けて余計にそうなのだと思うが、不安だという声がある。
タクシー運転手	・まだ総選挙が終わってみないと分からないが、総選挙次第では非常に厳しい局面もあるかもしれない。あるいは、その党によって多少上向き可能性もあるが、いずれにしても、なかなか厳しい。ただ明るいのは、多少円安に振れており、その辺りが期待しているところである。
通信会社（経営者）	・年末に向けて大きなイベントがないため、テレビへの関心も高まらない。
通信会社（営業担当）	・マーケット自体の縮小傾向が鮮明になっており、見通しが厳しい。
通信会社（管理担当）	・最近3か月の傾向が年末に掛けて変わる要素はなく、このままのトレンドが続く見込みである。

	観光名所（職員）	・当地域は観光地のため、11月はトップシーズンであり、1年間で最も旅客が出る時でもある。また、2か月後は正月があり、2番目の数字となる。しかし、それ以降はどんどん低迷していくため、やや悪くなる。
	その他レジャー施設 〔ボウリング場〕（支配人）	・総選挙期間は、決まって来場者数が減少する傾向にあるためである。
	その他レジャー施設 〔アミューズメント〕（店長）	・母体のショッピングセンター改装に伴う一時的な盛り上がりへのピークが3か月程度と見込んでいるため、現状の伸長状況よりは悪化する。
	その他レジャー施設 （経営企画担当）	・景気の落ち込みにより、レジャー支出への手控えが懸念となる。
	その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・前年より多くコマースは出しているが、全く反応がない。周りの塾も単価を少しずつ下げており、その影響もあると思う。今後の景気の回復は相当難しいのではないかと。
	設計事務所（所長）	・いずれにしても、業者数が増え、仕事量が非常に少ない。また、新築物件が非常に少ないというなかで、非常に厳しい状況である。
	住宅販売会社（従業員）	・展示場来場者数、現場見学会来場者数共に、目に見えて減少しており、今後の受注量は落ち込むことが明白である。
悪くなる	一般小売店〔家電〕（経理担当）	・高機能の新製品を勧めても、値段で購入する人がほとんどである。利益の出ない体質になっている。
	一般小売店〔家具〕（経営者）	・総選挙も控えており、結果がどう出るかによって大分変わってくると思うが、分からないというのが正直な答えである。
	一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・オーバーストアのため、悪くなる。
	一般小売店〔靴・履物〕（店長）	・これでまた総選挙が行われてがたがたして、結局、役人と官僚の世界になり、彼らが牛耳って思うままにやる。彼らは自分のことしか考えないため、絶対良くならないと思う。給料も上がらない。世の中のことを考える役人がいると良いのだが。ひどいことになると思う。
	スーパー（ネット宅配担当）	・中国問題が、製造業を中心に大きく影響する。また、消費税増税など含めて、先行き不安感から節約、儉約傾向は、更に強まる。消費の冷え込みから、更に全体がデフレ傾向にシフトしており、売上の維持は更に難しくなる。
	コンビニ（経営者）	・10月頃から、急激に悪くなってきている。来客数、単価共に落ちてきている。
	その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・総選挙後の政治によるのではないかと。
	一般レストラン（経営者）	・2、3か月先というと、2月はニッパチといって年間で一番売上の悪い月である。1人当たりの消費単価も少なくなっており、また、寒くて客の出足も悪くなるため、現在よりもかなり売上が悪くなる。
	一般レストラン（経営者）	・年末総選挙で早くも宴会などのキャンセルがきている。年明けに選挙が終わり政権ができたとしても、強力な政府になるということはあり得ないため、しばらくの間、景気対策などの大きい補正予算などは組みにくいと思っている。そのため、しばらくは景気が悪くなっていく感じがする。
	一般レストラン（スタッフ）	・やはり国民は今、総選挙もあるため、いろいろ政策なども見ている。もちろん世界的に不況なのだが、景気がこれほど悪くなり、ここまでできてしまっている。さらにまた政治家がいろいろ言っているが、落ち着いて、しっかりといろいろなことを片付けていけば、景気も上がっていくと思う。景気のことは何もなく、TPPだとかかかそういことばかり言っているため、やはり落ち着くまではもっと悪くなると思う。
	タクシー運転手	・師走は一般企業で忘年会が多少あると思うが、暮れの景気は例年に比べて悪い。一にも二にも中国との関係が回復しない限り、しばらくは景気は戻ってこない。
	遊園地（職員）	・総選挙等、先行き不透明感が強く、景気回復の期待が持てない。
	ゴルフ場（従業員）	・脱官僚、官僚叩きは間違いだと思う。優秀な官僚の力を生かせるよう、官僚の上に立ち、しっかり国政を行う政治家のリーダーがいけない限り、日本は良くならないと思う。穏やかで平穏な暮らしを多くの国民が望んでいると思う。今政界は、戦国時代を迎えようとしている。不安定な日本だから、近隣諸国は、強気で領土問題を攻めてくる。景気回復は、まだまだ先が見えない。
	美容室（経営者）	・社会や政治が大変悪いと思う。
その他サービス〔立体駐車場〕（経営者）	・良くなる要素が考えられない。	

		住宅販売会社（経営者）	・景気対策を重点においた政権が政策を実行して、早くデフレから脱却し、景気を良くすれば自然と税収が増えるため、すべてうまくいくと思う。今のままではとても景気が回復する見通しは立たない。
企業動向関連 (南関東)	良くなる	その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・冬の商材が比較的好調に販売できており、ベースが整いつつあるからである。
	やや良くなる	プラスチック製品製造業（経営者）	・総選挙が終わって、すべてが景気が良くなる期待感をもって動き出すのではないかと考えている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新商品の開発が一段落し、これから受注が始まる。既に何件か受注も決まっている。
		輸送業（経営者）	・デパートの売上が回復してきているということは、商品が多少活性化してきていると理解している。そういう点では、将来少しずつ景気が上がっていくと考えている。
		金融業（役員）	・今以上に景気対策が積極的になされる気配を感じる。すべては総選挙の結果次第である。
		税理士	・政権が代わり、景気対策に力を注いでくれるとの期待感が膨らむため、やや良くなる。
	変わらない	食料品製造業（経営者）	・状況としては多少良いのだが、理由が良く分からないため、変わらない。
		食料品製造業（経営者）	・総選挙が終わらないと分からない。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・不透明というのが正直なところである。今月の特需はスポット的な感じがあり、次に出るかは分からない。また、11月は年賀はがきの印刷の受注も受けており、これは9、10月にはなかったことであるが、例年並みかやや下向きであるため、やはり変らない見通しである。
		化学工業（従業員）	・建築関連の商品の動きは少しは良いが、他の機械、造船関連は相変わらず売上が悪い。
		金属製品製造業（経営者）	・取引先が半導体製造用部材から撤退することによるその売上減を補うほど、市場に力はない。
		金属製品製造業（経営者）	・総選挙後、政府がどのような政策をしていくかで、景気が変わってくると考えている。
		電気機械器具製造業（経営者）	・景気が悪い状況が定着しており、引き合いはあっても資金がないためか、なかなか成約が行われないことが多い。今後、総選挙が終わって落ち着かないと、景気が上向いてこないと思う。
		その他製造業〔靴〕（経営者）	・ここ数年、落ち込んだままの状況のなかで苦戦している得意先であるが、これが大きく変わることはないと思う。いずれにしても楽な仕事はないということは確かである。
		建設業（経営者）	・今の状況では変わらないだろう。総選挙が終わってどうなるかである。各企業も電気料金の値上げで四苦八苦している。
		建設業（営業担当）	・電機メーカー、自動車メーカーなどは設備投資を控えているが、今後の景気対策も含め、企業立地に対し企業へのインセンティブを行政が考えているため、今後に期待する。
		輸送業（総務担当）	・円安傾向で輸出が増えるのを期待しているが、国内出荷が低迷しているため、売上の増加は期待できない。また、東北の復旧、復興の関連資材は、荷動きがない状態が続いている。
		通信業（広報担当）	・この状況がしばらく続く。
		金融業（統括）	・総選挙の結果で政治が落ち着けば良くなるが、混乱していれば、また更に悪化してしまいそうだからである。
		金融業（従業員）	・中小企業の持ち直しの動きは鈍く、特に小売業で景況感の低迷が目立っている。要因として、大手企業との競合や、少子高齢化を挙げる声が多い。
		金融業（渉外・預金担当）	・総選挙の動向により、今後の国の政策施策によっては期待したいが、良くなるまでは言えないという声が多い。
		広告代理店（従業員）	・政局が決まらないため、今後の動きを見合わせている取引先が多い。
		広告代理店（営業担当）	・政権の行方次第である。
		社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない。
		経営コンサルタント	・年末年始の需要期のためである。
		経営コンサルタント	・ある信用金庫の貸出し担当の話である。地域経済の血液となる資金供給で、自分たちの果たす役割は大きい。これは確かだが、貸倒れが怖くて、融資先の選別に苦慮しているのが現状だという。こういう状況は、短期間では解消しないのではないかと。

	税理士	・いつも言っているが、北米での車などの売上、そして中国への売上である。アメリカの景気に勢いがいないため、あまり良くない形で変らないし、中国に対してはずっと落ち込んできている。ヨーロッパが悪いので中国が売れず、そのため日本も悪いというのは分かる。しかし、もう1つは内的要因である。日本の政治やリードが悪すぎるため、このような状況になっている。今度の総選挙でどうなるかよって、また変わってくると思う。そのためには、大きく改革してくれる政党に勝ってもらいたい。
	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・顧客各社からも景気低迷へ講じてきた対策の効果が見え始めるとの話も少しずつ聞かれ、現状は何とか維持できるのではないかと思っている。
やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（総務担当）	・もう何年も状況が変わっていない。
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・年末の忙しい時期でありながら、入札価格が更に下がる傾向にある。
	プラスチック製品製造業（経営者）	・国内消費に勢いがなく、年明けにかけて住宅関連部品の受注が2～3割減少する見込みで、穴埋めに四苦八苦しうである。
	金属製品製造業（経営者）	・政治の行方、大企業が国内生産をどのように考えるか定かでないため、先行きが不透明である。しかし、中国も日本企業の撤退が中国経済に大きく影響すると思うが、8%の成長計画が実行されれば、あまり大きく落ち込むことはないと思う。
	一般機械器具製造業（経営者）	・当社の客は7社あり、まだ中国向けが完全に止まりきっていない客がいたが、そこが来月から悪くなるということである。また一段と悪いほうに向かいそうである。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・今、納入先が海外生産、海外調達をする方向に動いている。半値か、2～3割安くできるかどうかということであるから、非常に厳しい状況である。これからの中小企業はどうすればいいのか、助けてほしい。
	輸送用機械器具製造業（経営者）	・今年は大丈夫だろうと9月は回答し、10月15日までは良かった。しかし、15日から急激に減速し、11月は前半少し出てきたが、15日から減産である。来年の1～2月まで生産調整だそうである。今日も棚卸しで仕事がない状況である。半年くらい良いと仮に思っても、すぐ減速して、また半年くらい悪くなってしまうため、全く信用できない。政治もそうだが、経済も、なかなか商売をやっていくのも難しい時代になった。
	輸送業（経営者）	・年末年始の休日の増加や2月の日数減で稼働率が落ち、年末年始の業量増も近年の傾向からは望めないため、状況は悪化する。
	金融業（支店長）	・各企業の先行きの受注予定は、少なくなっている。また、税金が上がって、電気料金の値上げ等もあって、身の回りに残るお金が少なくなっている。消費もやはり良くなっていないため、今後、企業にとっては見込みが少ないということで、景気が悪くなる。
	不動産業（経営者）	・新築に限らず、古い空室も沢山ある。また、内装の掛け方によってはワンルームでも50～100万円近くかかるため、大変な状態である。
	不動産業（従業員）	・当社、また同業他社も空き室が多く、賃料の値下げ交渉も多く、また借り手の顧客も少ない状況が続いている。
	不動産業（総務担当）	・オフィス賃貸もマンション分譲も、年末に入り、更に競争が激化しており、3月の決算期までは厳しい局面が続くと予想されるためである。
	広告代理店（従業員）	・受注予定の減少がみられる。
	経営コンサルタント	・政治の不安定、中国問題の経済への波及などにより、更に悪化していく。
	その他サービス業〔警備〕（経営者）	・新規現場が増えないと売上減となるが、まだ見通しが立っていない。
	その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・政治の混乱もあり、景気が上向き要素がみられない。特に、広告や映像の業界は、全く新しい見通しが無い。
	その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・インターネット対応のマンションの普及に伴い、新たにグレードアップする物件の市場規模が小さくなったためである。
	悪くなる	繊維工業（従業員）
出版・印刷・同関連産業（経営者）		・当社特有の季節的要因により、受注が落ち込む季節になる。



		出版・印刷・同関連産業（所長）	・クライアントの望むものが、価格ありきの状況が強く、何か考えないとますます悪化の一途をたどる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・ここにきて、売上が急に少なくなってきたため、悪くなる。
		精密機械器具製造業（経営者）	・一時的には回復基調だと考えられるが、根本的にマーケットが内需主導にならないと本当に回復はしない。
		建設業（経営者）	・強い政治家のリーダーシップが、あまりにもな過ぎるためである。
		建設業（経営者）	・政策が実行されていない。
		建設業（経理担当）	・総選挙の結果で、次の政権を取った党がどのような経済政策をとるのかにかかっている。今のままでは冷え切って年末年始を迎えそうである。
		金融業（支店長）	・異常な低金利局面であるため、企業は調達する手段を長期、固定金利で選ぶはずだが、いまだ変動金利を選択している。日銀の政策を見て、当面、金利上昇はないと見込んでいるからであり、金余り状態は続く。このままでは資金需要は回復しない。
		広告代理店（経営者）	・来年早々から始まる予定だった仕事が、新商品の不調が原因でなくなったからである。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・デフレは、少子化の影響で脱却はできないからである。
雇用 関連  (南関東)	良くなる	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・1、2月は年明けということで、かなり期待できる動きがあるという話をあちこちから聞いている。それが全部当社に来れば相当の盛り上がりがある。期待に添う成果が上がるように、大いに頑張っていく。
	やや良くなる	人材派遣会社（支店長）	・とにかく政権が変われば、少なからず今よりは良くなるように思える。
		人材派遣会社（営業担当）	・年度の変わり目に差し掛かり、短期的な採用や、長期的なポジションでの増員も期待できる。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	・次年度卒業生用の求人票が届き始めている。ハローワークから、今年度卒業生対象の求人票が届き始めていると連絡があり、まだ未内定者にはハローワークでも対応できると伝えてほしいと連絡があった。	
変わらない	人材派遣会社（営業担当）	人材派遣会社（支店長）	・年度末までは、求人数、採用数は変わらないためである。
		人材派遣会社（支店長）	・派遣登録数は前年より少ない状態であり、依頼がきても供給できないケースが増えており、成約数が伸び悩む。
	求人情報誌製作会社（編集者）	・人材採用マーケット全体としては、新卒、中途、派遣などの雇用形態でバランスをとる傾向にあり、大きな伸びは期待できない。	
	求人情報誌製作会社（営業担当）	・毎年、年末年始に掛けては求人の動きは鈍いため、この傾向は変わらないと思うが、政局や経済の動向によって、景気全体がどのように推移するのか、全く予測がつかない。	
	求人情報誌製作会社（営業担当）	・上向くような要素が見当たらない。	
	職業安定所（職員）	・前年や直近と比べても、求人は増え、求職者は減っている。また、採用も前年よりは下がっている。もしかしたら求職者がどんどん減っているのは、職業安定所に来る前に勤めてるのかもしれないが、自分で見ている限りは、日中関係やいろいろな外交も含めて、どちらかというやや悪くなっているのではないかと感じる。すぐに出るはこないかもしれないが、これから何か月後に、じわじわ出てくるのではないかと思っている。	
	職業安定所（職員）	・中小零細企業では、新規採用について経済動向の様子見している事業所も多い。	
	職業安定所（職員）	・7か月連続で求人は増加している。しかし、パートタイマーや契約社員、派遣等の求人が増加している一方、正規雇用の求人数が減少しているところから、景気の先行き不透明感は続いている。	
	民間職業紹介機関（経営者）	・衆議院選挙後の新政権の経済政策待ちである。	
	民間職業紹介機関（経営者）	・当社は製造メーカーのクライアントが多く、国内経済が低迷しているため、どうしても、米国、中国、ブラジル、東南アジアといった海外市場を見て製造拠点の充実化を図っており、その対応のための求人は今後とも続くと思う。	
	民間職業紹介機関（職員）	・先行き不透明なもの、求人数という点で定量的な変化はまだない。	
	学校〔専修学校〕（就職担当）	・年度末に向けてた採用の新規募集、追加募集を確認しているが、前年度と比較して大きな求人増加は見込めない。	

やや悪くなる	人材派遣会社（社員）	・いろいろな業種の経営者と話をしたが、この総選挙絡みでどうなるか不透明だが、現政権の景気対策等のまずさがこの2、3か月続くのではないかと、そのため来春以降どうなるか、今後の政権を担う党に、大きく期待されるのではないかとこの話が多かった。
	人材派遣会社（社員）	・年明け以降で増員等の話は聞かない。
	人材派遣会社（営業担当）	・求人数は数か月前に比べ微増であるが、企業側が求めているスペックも徐々に高くなってきており、供給できる人材がないため、求人者と求職者の結びつきが困難になっている。
	求人情報誌製作会社（営業担当）	・年明けに向けての求人の予定がないという客のほうが多くなっているからである。
	求人情報誌製作会社（広報担当）	・大手電機メーカーをはじめとして、日本の産業の景気が悪いので、なかなか復活の目途が立てられていないように思う。
	職業安定所（所長）	・管内の有効求人倍率が1倍を目前に停滞している。求職者も減少基調ではあるが、小幅になりつつある。国内政治の混乱、中国等の国際情勢の影響等も勘定に入れると、景気はやや悪くなる。
	職業安定所（職員）	・採用者数が減ってきている。
悪くなる	職業安定所（職員）	・管内の派遣会社で大規模な雇止めを実施予定である。来月にかけて求職者が増加する懸念がある。
	民間職業紹介機関（職員）	・我々の動向と景気動向指数（C I 値）との連動性が高く、なかでも遅行指数の相関性は高い。そのなかで、先行指数が落ちてきており、来年初めには厳しくなっていくことが十分に想定される。
	人材派遣会社（社員）	・製造業を中心として、雇用に陰りがある。電機業界のリストラや、自動車業界の生産縮小などで雇用環境が悪化している。